



旧会館 正面入口

旧会館時代の思い出 〈前編〉

2013年9月19日に当会事務局を定年退職された小林博隆元事務局
局長（現在、東京都弁護士協同組合事務局長）に寄稿いただきました。
2回に分けて掲載します。

元事務局長 小林 博隆

（聞き手：広報課 宿輪 初音）

宿輪：長い間お疲れ様でした。事務局に就職されたのは、もちろん旧会館ですよね。

小林：そうです。1976年の6月でした。今の裁判所のあたりに農水省側から二弁、東弁、一弁の順に3階建ての建物が三つ並んでいました。さらに法曹会館寄りに日弁連…二弁の地下には大平、一弁の地下には中華の銀茶寮、残念ながら新しい会館には入りませんでした。東弁の地下にはメトロ、みとう、それから床屋さんと歯医者さんもありました。

宿輪：からかっていませんか？

小林：本当にありましたよ、歯医者さん。みとうなんか石炭置き場の跡地ですよ。だから狭かった。

宿輪：石炭？ 何に使ったんですか？

小林：ボイラーの燃料。僕の入ったときはさすがに石炭はなかったけど。

宿輪：歴史のある建物だったようですが、とくに印象に残っていることはありますか。

小林：大きなひび割れがあったり、でも、ぼろは着てても…活動の中身で勝負というような気概があったように思います。

宿輪：一体感があったんですね。ほかにどうですか。

小林：会長室に田中正造先生の感謝状が額に入られてありました。と最近まで思い込んでいて、

没後100年を機に倉庫から出して飾ろうということになって調べてみたら、田中正造先生は出てこない。でも足尾鉍毒事件には関係があって、渡良瀬川流域の村の村議会議長が花井卓蔵先生ほか弁護団の皆さんに宛てた感謝状でした。なぜかベテラン職員はみんな思い込んでいましたね。

宿輪：田中正造先生ではなかったとしても、多くの先輩会員が大きな公害事件で活躍されたことの証ですね。すごいですね。

小林：それから、3階に講堂があって、ここで総会や常議員会などをするのですが、ここだけエアコンがない。夏場の常議員会は大変でした。大きな扇風機はいくつもありませんでした。

宿輪：それは大変です。

小林：消費者被害の集会もここでやりました。300人以上集まって床が抜けるぞ…と大騒ぎしたこともあります。その後、専門家に点検してもらったら、500人までいける、ということだったと記憶しています。ちなみに、このときの集会はゴルフ場の会員権の問題、当会の会員も説明会をそーっと聞いていたということでしたね。

宿輪：会員も被害者だった。本当ですか？

小林：だったらいい。講堂はいろいろなことに使われていましたが、講堂の入り口に「特別室」とい

うのがありました。字が薄くなってよくみないと「特別室」とは気がつかない。何が特別なのか調べてみました。

宿輪：わけありですか？

小林：特別室と講堂は大きな観音開きのドアでつながっている。ドアを開けると講堂が見渡せる構造になっているわけです。これがわけあり。古い弁護士法時代の名残だったようです。

宿輪：なんですか？

小林：司法省の役人が東弁総会を監視する部屋だったようです。

宿輪：えーっ。

小林：「思い出の弁護士会館」というビデオに出きます。今は「弁護士自治」ですよ。弁護士自治を獲得して守ってきた歴史は「百年史」にくわしく載っています。

宿輪：古い会館を知らない私にとって、ぼろは着てもというお話でしたが、弁護士会の活動の染みこんだすてきな会館だったように思えてきました。「垂れ幕問題」ということも聞いたことがあります。

小林：デパートによくある「〇〇セール」というような垂れ幕。古い会館の玄関脇にかかっていた。「刑事施設法案反対！ 留置施設法案反対！」「代用監獄を廃止しよう！」というようなものでした。これをかけるときに「美観を損ねる」というような理由で会館委員会や常議員会でなかなか通らなかったというように聞いています。でもなんとか垂れ幕をかけられた。その後、拘禁二法案（刑事施設法案と留置施設法案）が廃案になって、垂れ幕も役割を終えて外すことになりました。ところが、拘禁二法案は廃案になったと思ったらまた提出されたりして、そんなことの繰り返しでした。

宿輪：そのたびに垂れ幕を下げて…。

小林：そううまくいかない。いったん外すとすぐにはいかない。また拘禁二法案が大変なので垂れ幕を、と対策本部で頑張ったんですが、なかなか難しい。そこで、ある職員が、そもそも使えるかどうかわからないから、垂らしてみようというわけで垂らしてみた。

宿輪：それでどうになりました？

小林：そのままにしておいたらいい。

宿輪：“ある職員”…小林さんでしょ。

小林：よく覚えていません。すっかり会館になじんでしまっ、誰も気がつかない。

宿輪：前にもあったし、あれっみたい。

小林：そうそう。ところが、拘禁本部の西嶋勝彦先生が気がついた。

宿輪：それはまずいぞ。

小林：「小林君、あれどうしたんだい」「虫干しです」「虫干し？ それはいい」ととても喜んでいただきました。

宿輪：おもしろすぎませんか？ やっぱ“ある職員”だ。

小林：垂れ幕でずいぶん時間を使ってしまった。

(次号に続く)



旧会館講堂での常議員会（1995年）